

「若年雇用対策プロジェクトチーム」の設置経緯について

I. 「経済財政改革の基本方針 2009」（平成 21 年 6 月 23 日、閣議決定）（抄）

第 1 章 危機克服の道筋

4. 「安心と活力」の両立を目指して

(3) 当面の「最優先課題」（府省に広くまたがる横断的課題）

以下を当面の「最優先課題」とし、関係府省は、予算・人材両面において最大限の重点対応を行う。さらに、内閣主導で、府省横断的なプロジェクト・チームを設置する等により迅速かつ総合的な取組を図る。

① 経済危機克服

i) 経済と社会の安定の基軸である雇用については、雇用維持のための緊急取組に加え、「次世代の日本を担う若年層」に対して職業能力向上と再挑戦の機会拡大のための支援を強化する。その際、企業・自治体と連携しながら「縦割り」を超えた政府横断的取組を図る。

II. 「危機克服への道筋とリスクへの対応」（平成 21 年 7 月 17 日、経済財政諮問会議資料）（抄）

2. 民需主導の持続的成長の実現に向けて

（中略）21 年度本予算や補正予算を通じて、民需を下支え・誘発するよう、丁寧なマクロ経済運営を行うことが重要である。そのカギは、「安心と活力」に直結する“Wise Spending”を確実に実現することであり、以下の取組を推進すべきである。

－ 若年層に対する重点的な雇用対策に取り組むための内閣主導の府省横断的なプロジェクトチームを設置する。